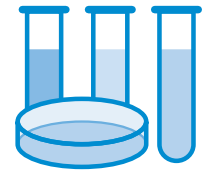


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

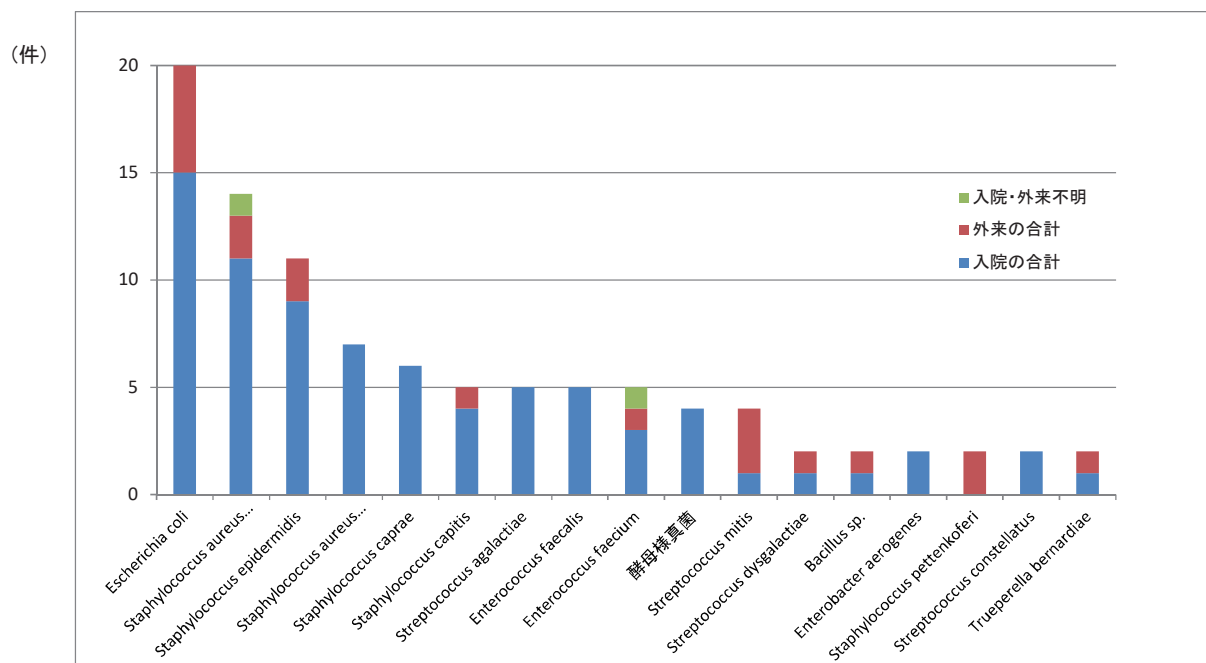


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、血液・穿刺液の細菌検出状況の中で *Escherichia coli* について掲載いたします。

【細菌検出状況】

【血液・穿刺液】細菌検出状況 2019年05月



Escherichia coli は、ヒトおよび動物の腸管内に常在するグラム陰性桿菌です。*E. coli* によって起こる感染症は腸管感染症と腸外感染症に大別され、腸管感染症として下痢症、食中毒（急性胃腸炎）、出血性大腸炎などを起こします。腸外感染症としては、尿路感染症、胆管炎などの腹腔内感染症、新生児髄膜炎の原因菌として分離されます。また、カテーテル類感染や術後感染など、院内感染原因菌として検出される頻度も高く、様々な臓器の感染症に関わっています。

【細菌薬剤感受性情報】

2019年5月分

アンチバイオグラム (*Escherichia coli*)

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PIPC	ペントシリン	49	19	33
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	46	4	50
	CMX	ベストコール	79	0	21
	CTX	セフォタックス	59	2	39
	CTRX	ロセフィン	61	1	38
	CAZ	モダシン	80	9	11
	GZOP	ファーストシン	69	11	20
	CFPM	マキシピーム	92	3	5
	GMZ	セフメタゾン	99	1	0
	FMOX	フルマリン	100	0	0
セフェム系経口薬	CPDX	バナン	55	0	45
	CFPN	フロモックス	56	4	40
	CDTR	メアクト	55	5	40
	CFTM	トミロン	72	7	21
カルバペネム系	IPM	チエナム	100	0	0
	MEPM	メロペン	100	0	0
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	90	6	4
	ACV	オーグメンチン	79	13	7
	S/C	スルペラゾン	97	3	1
	T/P	ゾシン	100	0	0
アミノグリコシド系	AMK	アミカシン	100	0	0
	GM	ゲンタシン	85	1	14
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	94	2	4
その他抗菌薬	FOM	ホスミシン	95	2	2
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	46	3	51
	TFLX	オゼックス	45	1	54
	GRNX	ジェニナック	48	5	47
	ST	バクタ	72	0	28

Escherichia coli はβラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系薬、多くのセファロスポリン系薬、カルバペネム系薬、アミノグリコシド系薬に感性を示しますが、キノロン系には耐性菌が多いです。近年、ESBL産生菌などの薬剤耐性菌が増加しており、上記表のように当検査センターの薬剤感受性率もセフェム系、ペニシリン系耐性株が約半数を占めています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係